

宮城県事故多発交差点において 県・県警等と交通事故防止の街頭啓発活動を実施 ～共同制作した啓発チラシを東二番丁定禅寺通交差点（県内ワースト 4 位）で配布～

日本損害保険協会東北支部（委員長：西山 喜和・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員 東北担当）は、宮城県および宮城県警と連携して、ドライバー・自転車利用者・歩行者向けに事故防止を訴えた注意喚起チラシを作成するとともに、2024 年中の事故多発交差点ワースト 4 位である東二番丁定禅寺通交差点（仙台市青葉区）において街頭啓発活動を行いました。

当支部では、宮城県および宮城県警と交通事故防止等にかかる協定を締結しており、毎年、啓発チラシの作成や街頭活動などを通して、連携した啓発の取り組みを行っています。

東二番丁定禅寺通交差点における街頭啓発活動では、事故が多くなる夕暮れ時の時間帯に、県や県警に仙台中央警察署、交通安全協会などの関係者も加わり、総勢約 30 名でドライバーや自転車運転者、歩行者に対して啓発チラシを配布し、注意喚起を行いました。本交差点は、デパートや官公庁にも近く、人や自転車の往来が多い交差点です。今回の活動を通じて、1 件でも悲惨な事故を減らすことに繋がれば幸いです。

また、今年度の配布チラシは、事故の傾向に基づき、ドライバー向けには早めのライト点灯とハイビームの活用、ながらスマホ等の注意喚起を、自転車利用者向けには自転車安全利用五則の徹底、歩行者向けには反射材の着用と横断歩道の利用を呼び掛ける内容となっています。今回は、46,000 部を作成し、このうち県に 25,000 部、県警に 15,000 部を提供し、各警察署における高齢者宅訪問や自治体での出前講座、損保契約者への情報提供などにおいて活用することとしています。

当支部では引き続き、関係機関と連携し、事故防止・軽減に向けた取組みを推進していきます。

* 街頭啓発活動の当日は、河北新報および読売新聞から取材がありました。



松代事務局長からの挨拶



啓発活動の様子



宮城県版チラシ
(左:表面、右:裏面)

チラシの PDF は以下からご覧いただけます。
https://www.sonpo.or.jp/news/branch/tohoku/2025/pdf/2510_miyagi.pdf